



2022年2月18日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ タ ッ プ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 崎 祐 一 郎
(コード番号：6172 東証マザーズ)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 原 大 輔
(TEL. 03-5962-6450)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時 2022年2月15日（火）15：00－15：30

開催方法 オンライン決算説明会

説明会資料名 2021年12月期通期決算説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料



metaps®

株式会社メタップス (TSE:6172)

2021年12月期通期

決算説明資料



- ▶ 中華圏事業及び韓国事業の譲渡（2022年4月完了見込み）に伴い、海外事業を非継続事業に分類し、開示の表示方法を変更
- ▶ 既存事業の好調な業績トレンドが続き、ストック型ビジネスのARR（年間経常収益）が過去最高の30.6億円を達成
- ▶ 成長の基軸であるファイナンス事業のパッケージ・ソリューション及び信用ビジネスが好調。同サービスのMRR（月次経常収益）は、前年比192.2%と急拡大
- ▶ ノンコア事業の整理が、2022年12月期上期で完了する見通し
- ▶ ファイナンス事業において発生した不正アクセスに関連し、各種調査、再発防止等が必要となる費用見込みとして、168百万円を計上

- ▶ 当社は、2021年3月29日にMetaps Entertainment Limited（中華圏事業）の株式を譲渡。また、2021年12月30日開催の取締役会において、Mafin Inc.（韓国事業）の株式譲渡を決定。海外事業からの撤退となることから、海外セグメントを非継続事業に分類し、前連結会計年度及び当連結会計年度のセグメント情報から控除
- ▶ これにより、当期より売上高、営業利益、税引前当期利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業の合算を表示
- ▶ 前連結会計年度についても同様の組み替えで表示

発生した事象

- ▶ 2021年12月、当社子会社が運営するクレジットカード決済システムへのデータベースに不正アクセスが確認され、情報が流出した可能性のある事が判明

当社グループの対応

- ▶ 2021年12月、第三者機関によるフォレンジック調査を開始
- ▶ 2022年1月、安全配慮の観点からクレジットカード決済の一部を停止
- ▶ 2022年2月、第三者機関を含めた再発防止チームを編成

業績への影響

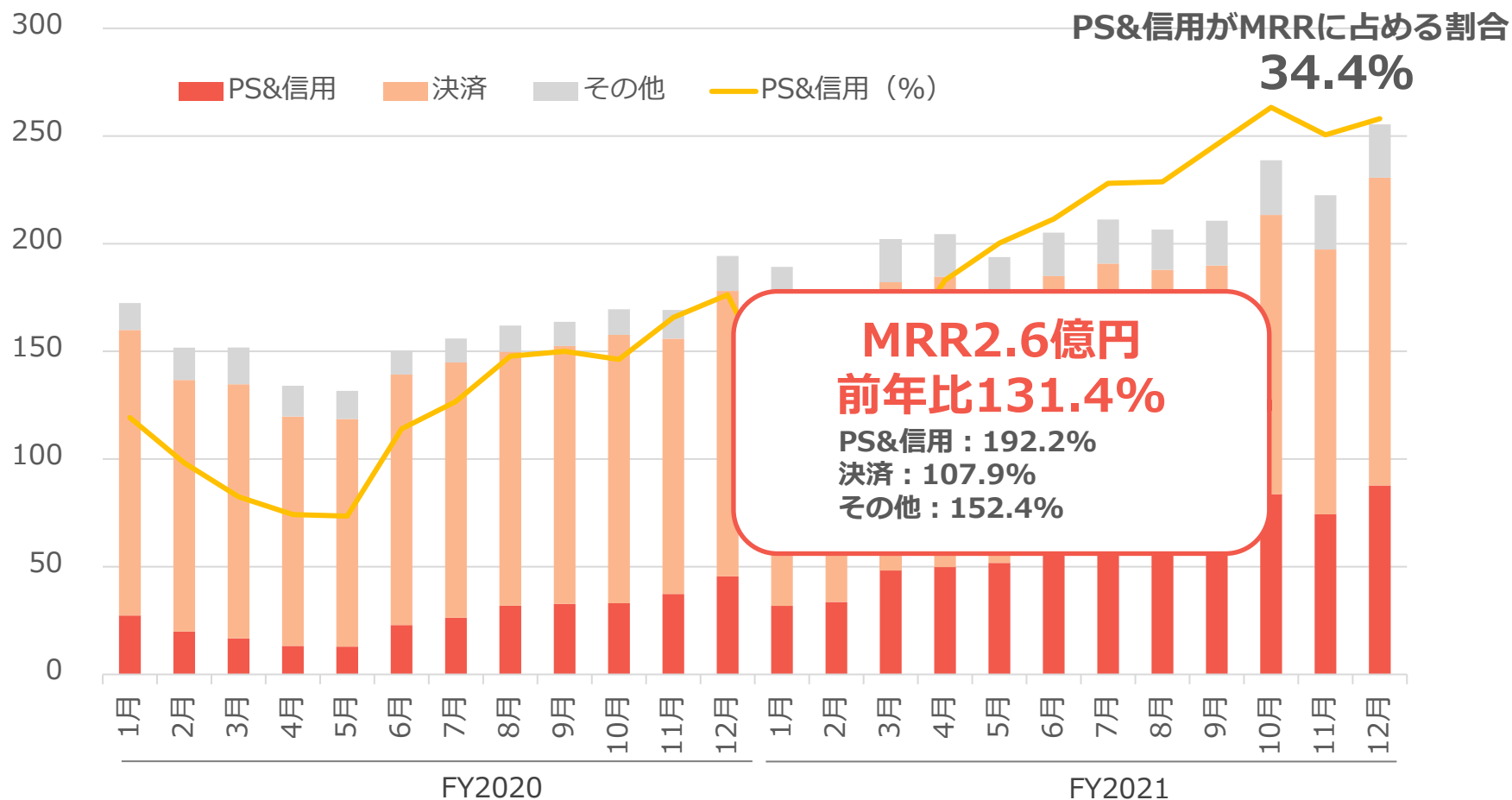
- ▶ 2021年12月期において、各種調査、再発防止、取引先への対応等に必要となる費用見込みとして、168百万円をその他費用に計上
- ▶ 今後、追加費用が発生した場合は、2022年12月期に計上。損失は保険で補填されるものの、適用されない部分は費用計上

2021年12月期通期 (2021年1月～12月)

ストック型収益：MRR（月次経常収益）

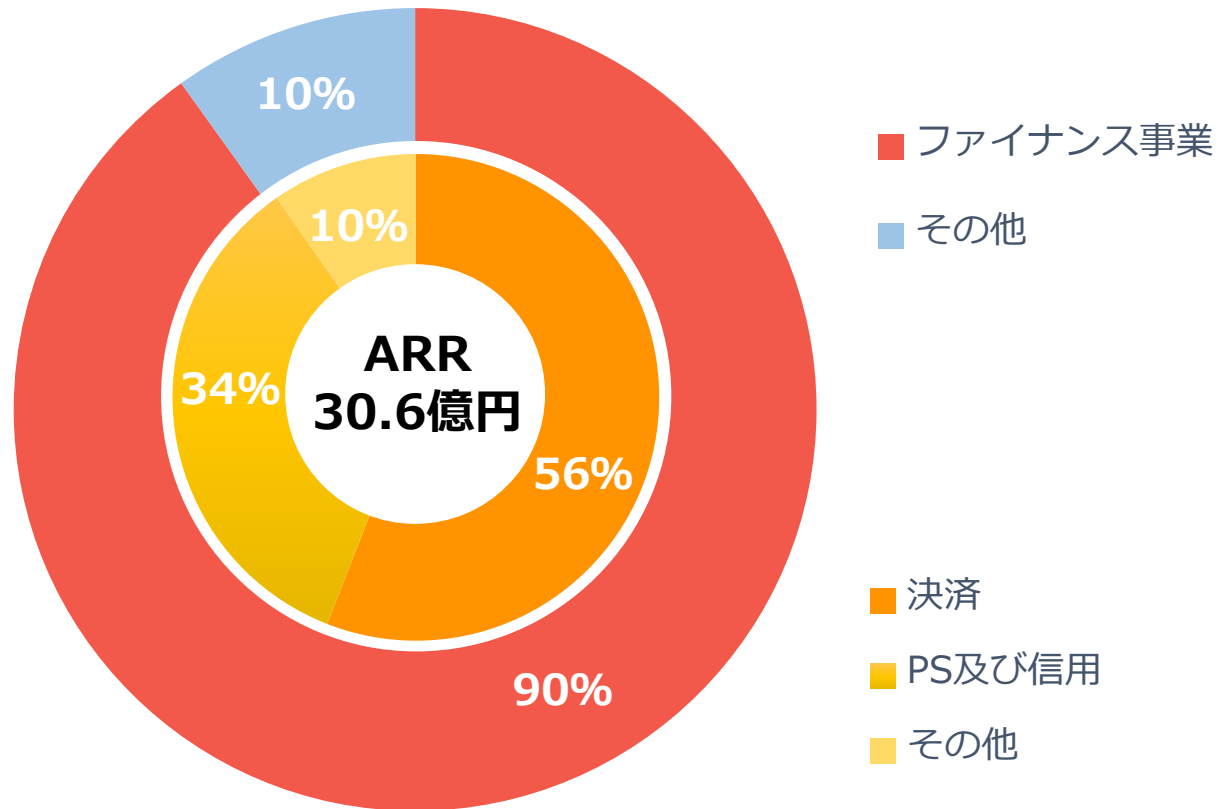
MRRの成長トレンドが継続し、12月に過去最高のMRRを達成。前年比131.4%と高成長を維持。PS&信用ビジネスに限ると前年比192.2%

(百万円)



※PS=パッケージ・ソリューション（会費ペイ・イベントペイ・チケットペイ） 信用=信用ビジネス（CRIA）

ARRも過去最高の30.6億円に拡大。パッケージ・ソリューション及び信用ビジネスが順調に成長し、ストック型収益全体の34%を占める

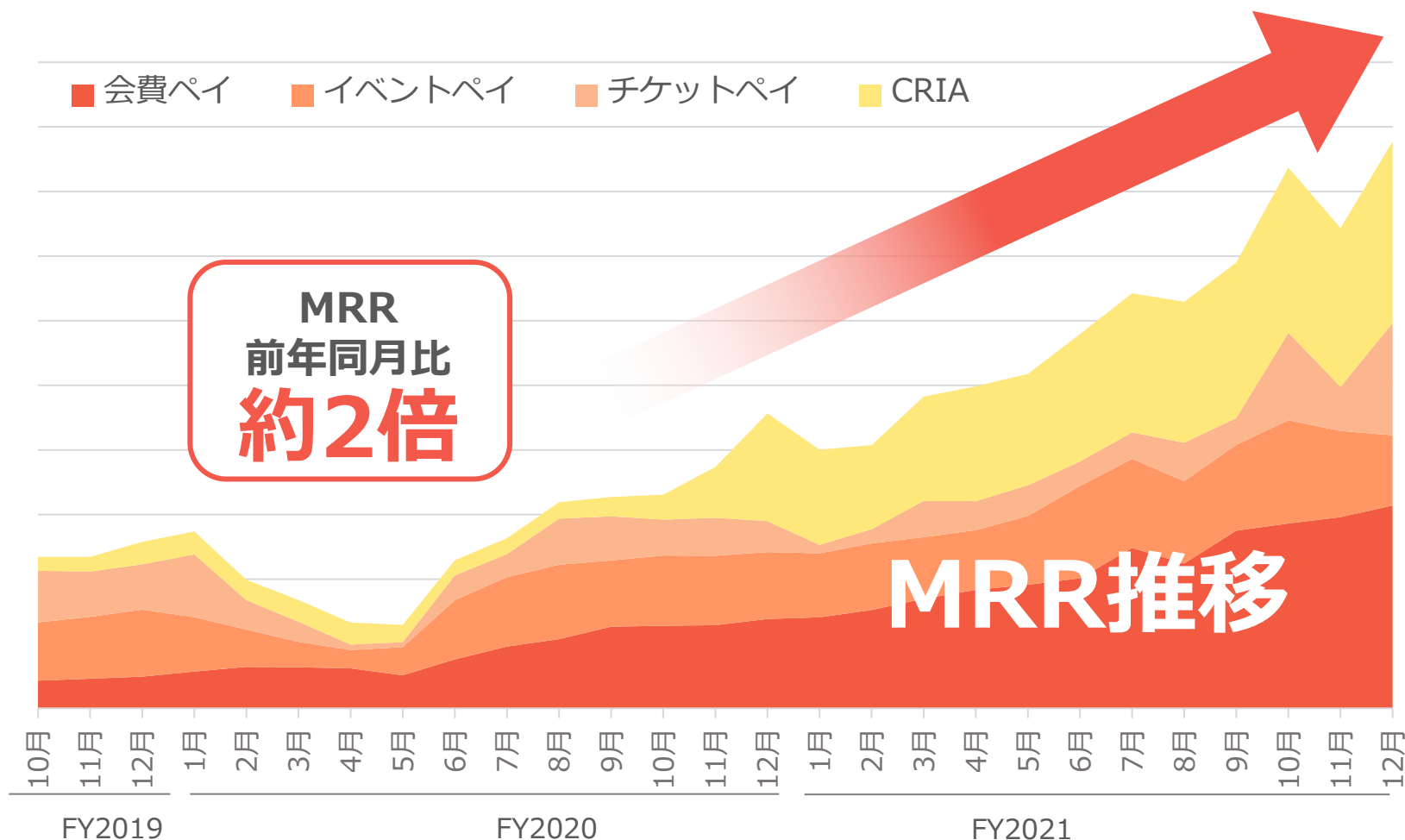


※PS=パッケージ・ソリューション（会費ペイ・イベントペイ・チケットペイ） 信用=信用ビジネス（CRIA）

※ARR=直近四半期末MRR×12

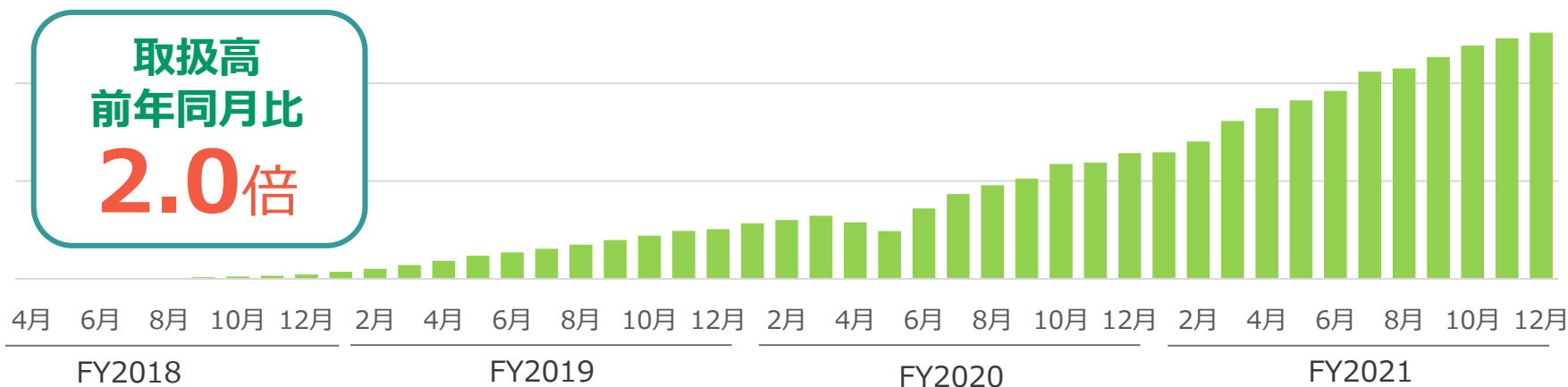
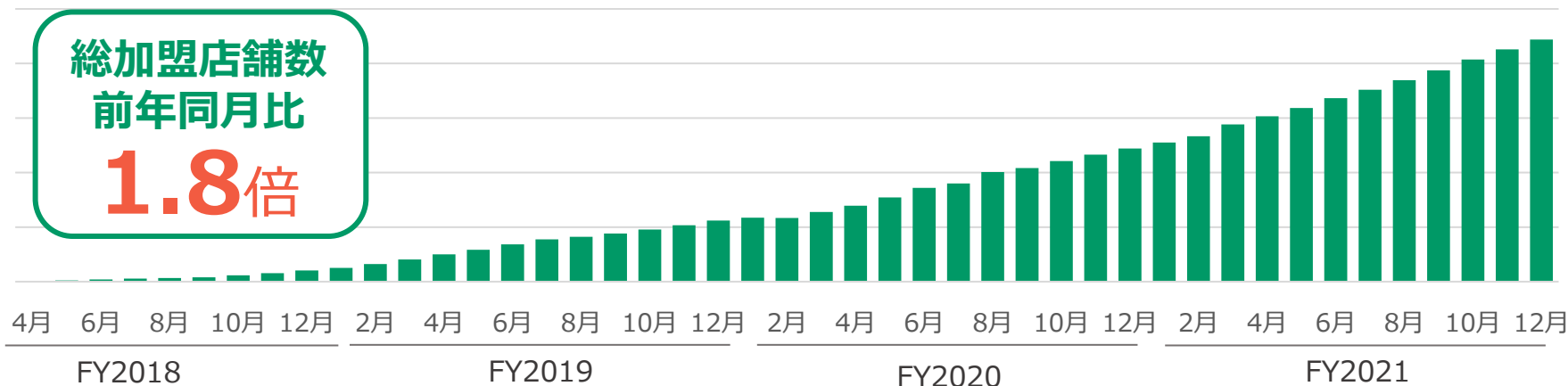
※「その他」には、マーケティング事業及びDX支援事業のうち、ストック型ビジネスのみを含む

成長の軸であるサブスク事業者向け業務効率化ツール「**会費ペイ**」
と給与即時払いサービス「**CRIA**」がともに好調を継続



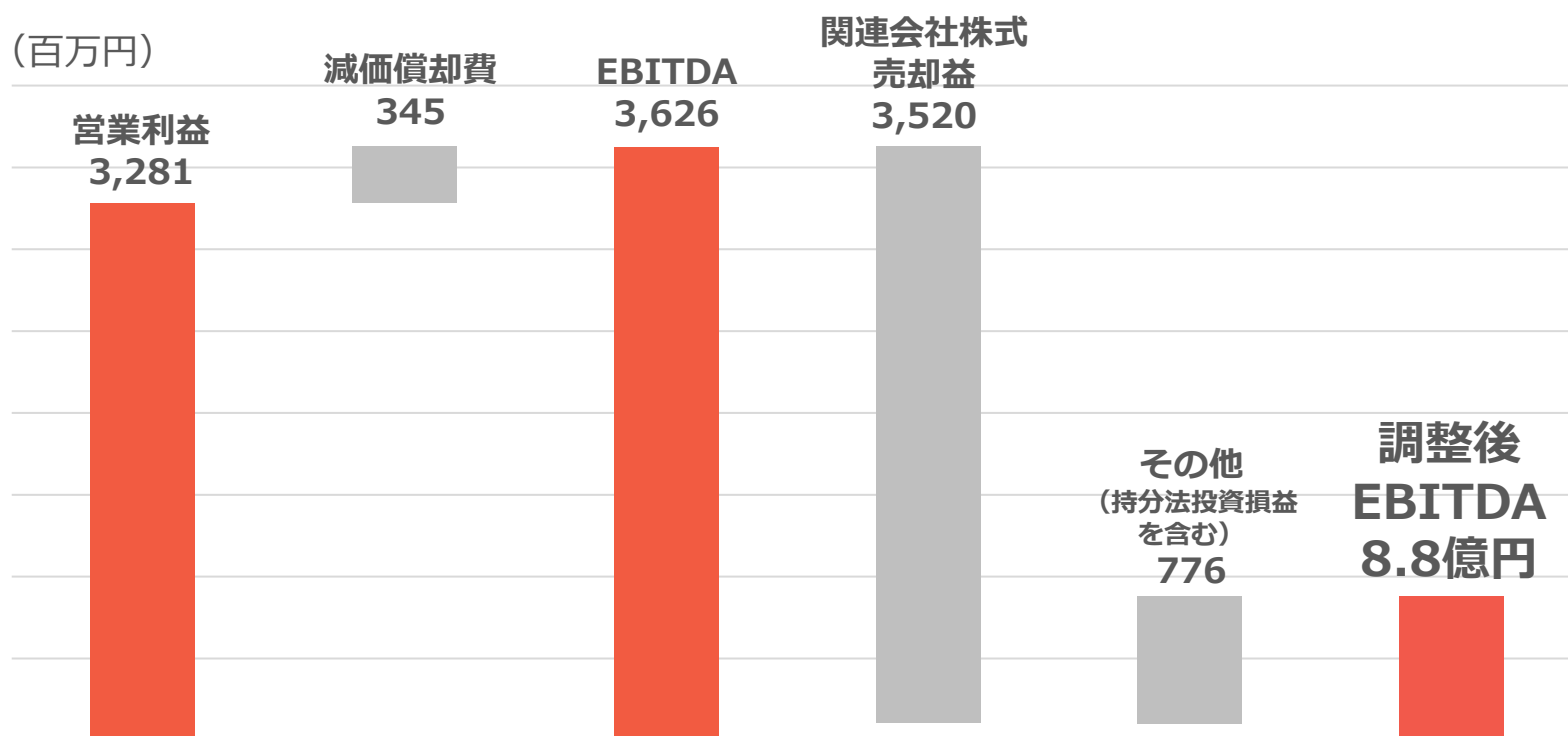


マーケティング施策好調で、依然として強い伸びを維持。**総加盟店数、取扱高ともに前年同月比約2倍**



※大手加盟店向けに提供する会費ペイの派生サービスを除く

非継続事業を除く調整後EBITDAは、**8.8億円の黒字**



※継続事業の営業活動には直接的に関係のない、一時的な要因を外した数値を示すことで、メタップスグループの継続的な業績を理解いただくことを目的とする。従来のEBITDA（営業利益+減価償却費）に加え、IFRS関連費用、組織再編費用、M&A関連費用等を調整

経営効率を追求しつつ、安全性・健全性にも留意するため、短期的には**DEレシオ**は1.0倍以内を維持

資本効率の高い経営を目指すものの、短期的には成長投資を行うため、**自己資本比率**は20%超を維持

非常事態においても安定した事業運営を継続できる様に、**調整後手元流動性比率**は12倍（販管費1年分）超を維持

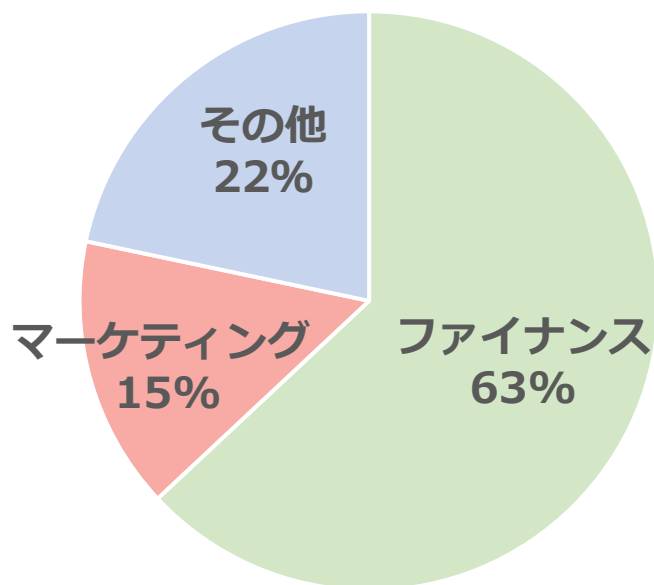
単位：百万円	2019年12月末	2020年12月末	2021年12月末
現預金	4,683	6,648	11,648
有利子負債	2,343	2,359	1,355
総資産	20,884	21,921	31,500
自己資本（親会社持分）	4,899	5,662	9,846
DEレシオ	0.48	0.42	0.14
自己資本比率	23.5%	25.8%	31.3%
営業債権等	9,752	9,195	13,312
営業債務等	11,130	10,294	15,794
調整後手元流動性 ※1	3,305	5,549	9,165
月平均販管費（減価償却除く）	439	306	185
調整後手元流動性比率 ※2	7.5	18.1	49.5

※1 調整後手元流動性は、現預金＋営業債権等－営業債務等

※2 調整後手元流動性比率は、調整後手元流動性÷月平均販管費（減価償却除く）

ファイナンス事業、マーケティング事業ともに堅調に推移。特にファイナンスのセグメント利益は前年比76.9%増。中華圏事業及び韓国事業の譲渡に伴い、海外事業を報告セグメントから除外

セグメント別構成比※



※各報告セグメント売上総利益の単純合計額を基に算出

(百万円)	売上高	売上 総利益	セグメント 利益
ファイナンス %前年比	2,260 +29.3%	1,961 +29.1%	725 +76.9%
マーケティング %前年比	2,696 +22.3%	475 +11.8%	164 +14.4%
その他 %前年比	783 -10.8%	675 -10.6%	-936 +1.4億

持分法投資
損失を含む

韓国子会社メタップスプラスが保有するマーケティング事業及びデジタルギフト事業を運営するMafin Inc.の全株式を売却



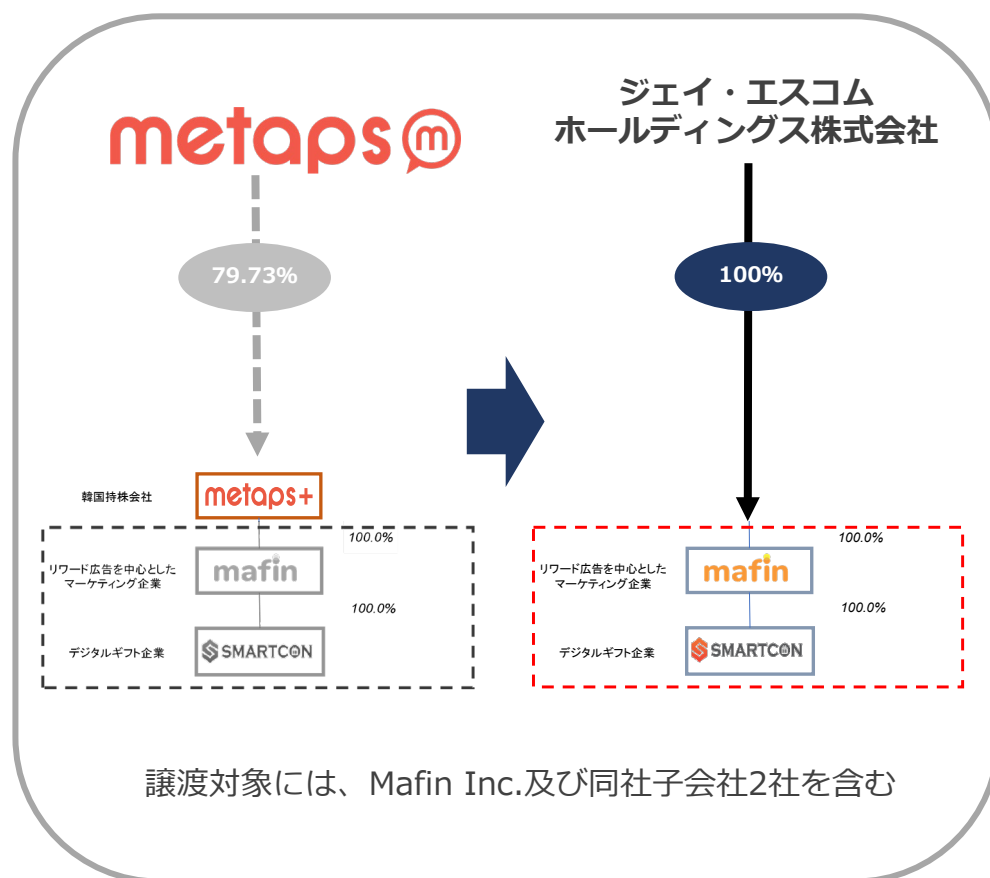
案件概要

株式譲渡実行日：2022年4月1日（予定）
譲渡先：ジェイ・エスコムホールディングス株式会社

- 中期経営計画「The Road To 2025」の実現に向けて、B2B 事業及びストック型ビジネスへの更なる注力を進めるため、海外事業からの撤退を決定
- 本件のクロージングで、海外事業からの撤退が完了

（ご参考）

「子会社（孫会社）の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」（2021年12月30日付）
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/2066510/00.pdf>



持分法適用会社で、スマートフォン決済・送金サービスを展開する「pring（プリン）」の全株式をGoogleに譲渡



案件概要

株式譲渡実行日：2021年9月21日

譲渡価額：4,921百万円

譲渡先：Google

- 中期経営計画「The Road To 2025」の実現に向けて、B2B事業及びストック型ビジネスへの更なる注力を進めるため、事業ポートフォリオ見直しの一環として決定
- 2021年12月期第3四半期の連結業績において関係会社株式売却益としてその他収益3,520百万円を計上

（ご参考）「持分法適用関連会社株式の売却に関するお知らせ」（2021年7月13日付）
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/2000383/00.pdf>



越境マーケティング事業を運営する
中華圏持株会社Metaps Entertainment
の全株式を売却



案件概要

株式譲渡実行日：2021年3月29日

譲渡価額：2,165百万円

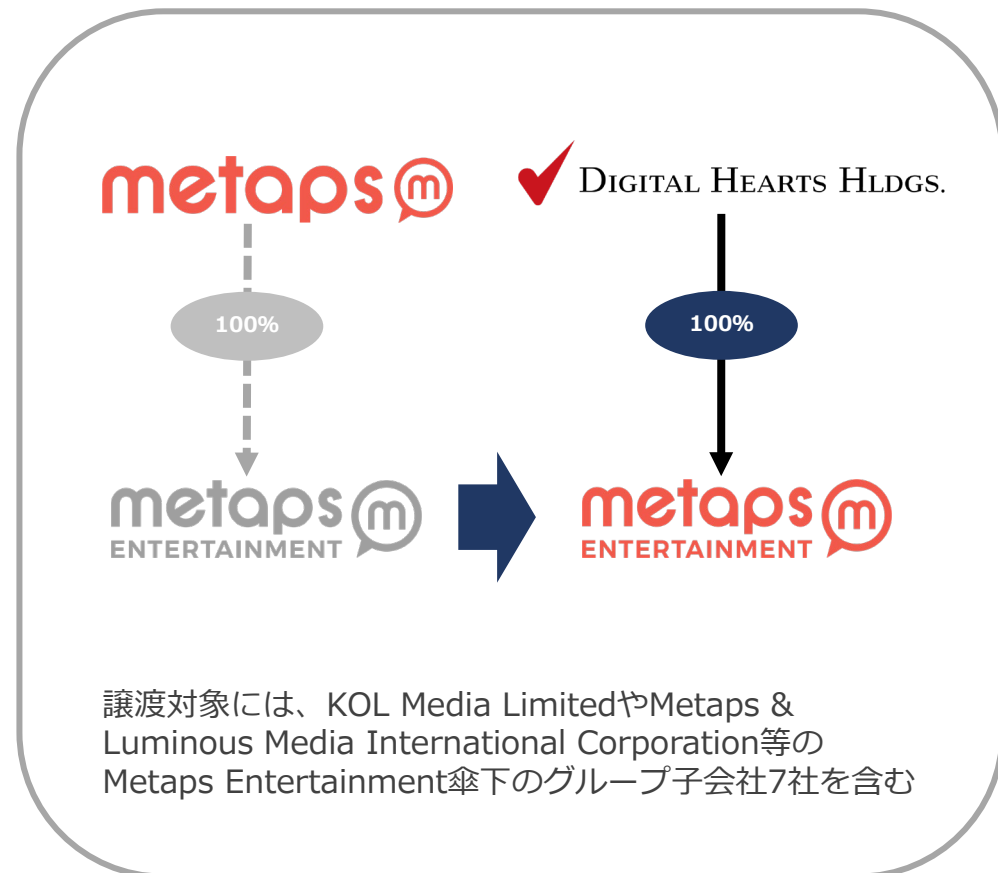
譲渡先：デジタルハーツホールディングス

- 本件完了に伴い、海外マーケティング事業より撤退、今後は国内事業に経営資源を集中

(ご参考)

「子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」(2021年3月8日付)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1942204/00.pdf>



ブロックチェーン技術を活用したデジタル
アイテム取引所“miime（ミーム）”を運営
するメタップスアルファの全株式を売却



案件概要

株式譲渡実行日：2021年2月12日

譲渡価額：非公表

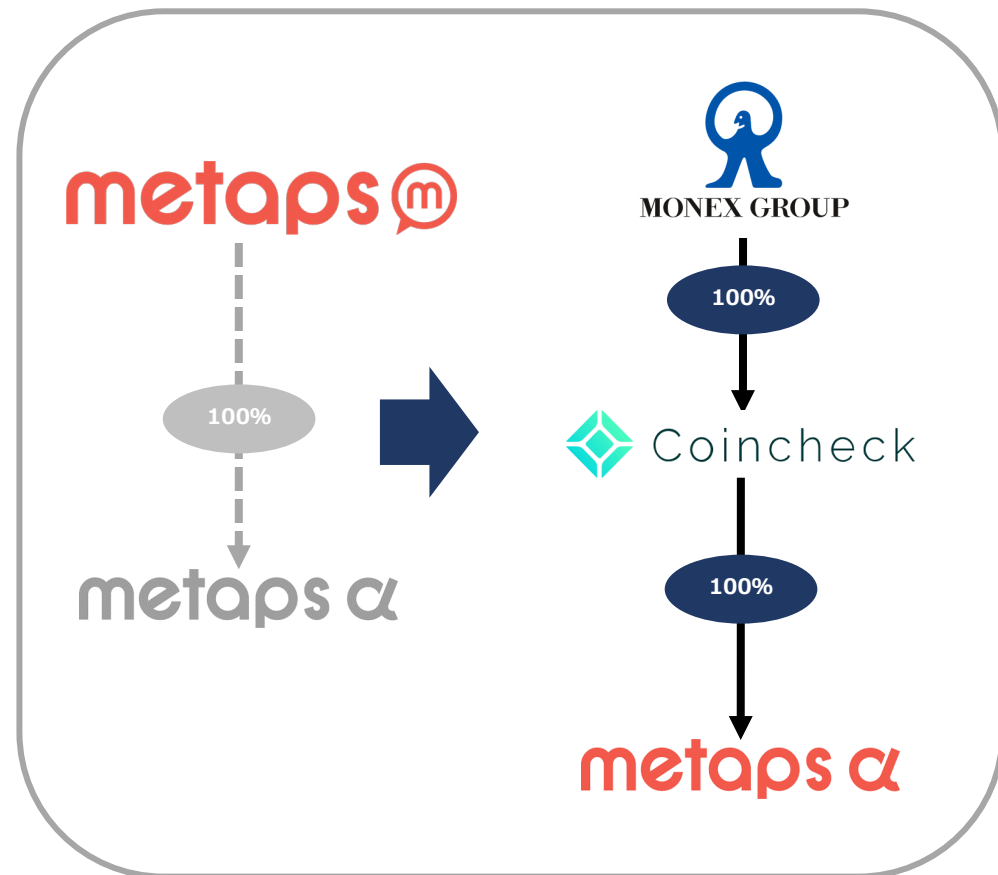
譲渡先：コインチェック

- ブロックチェーン技術に関する研究開発は、当社グループにおいても継続し、今後の新規事業やDX支援事業において活用予定
- 2021年12月期第1四半期の連結業績において関係会社株式売却益としてその他収益43百万円を計上

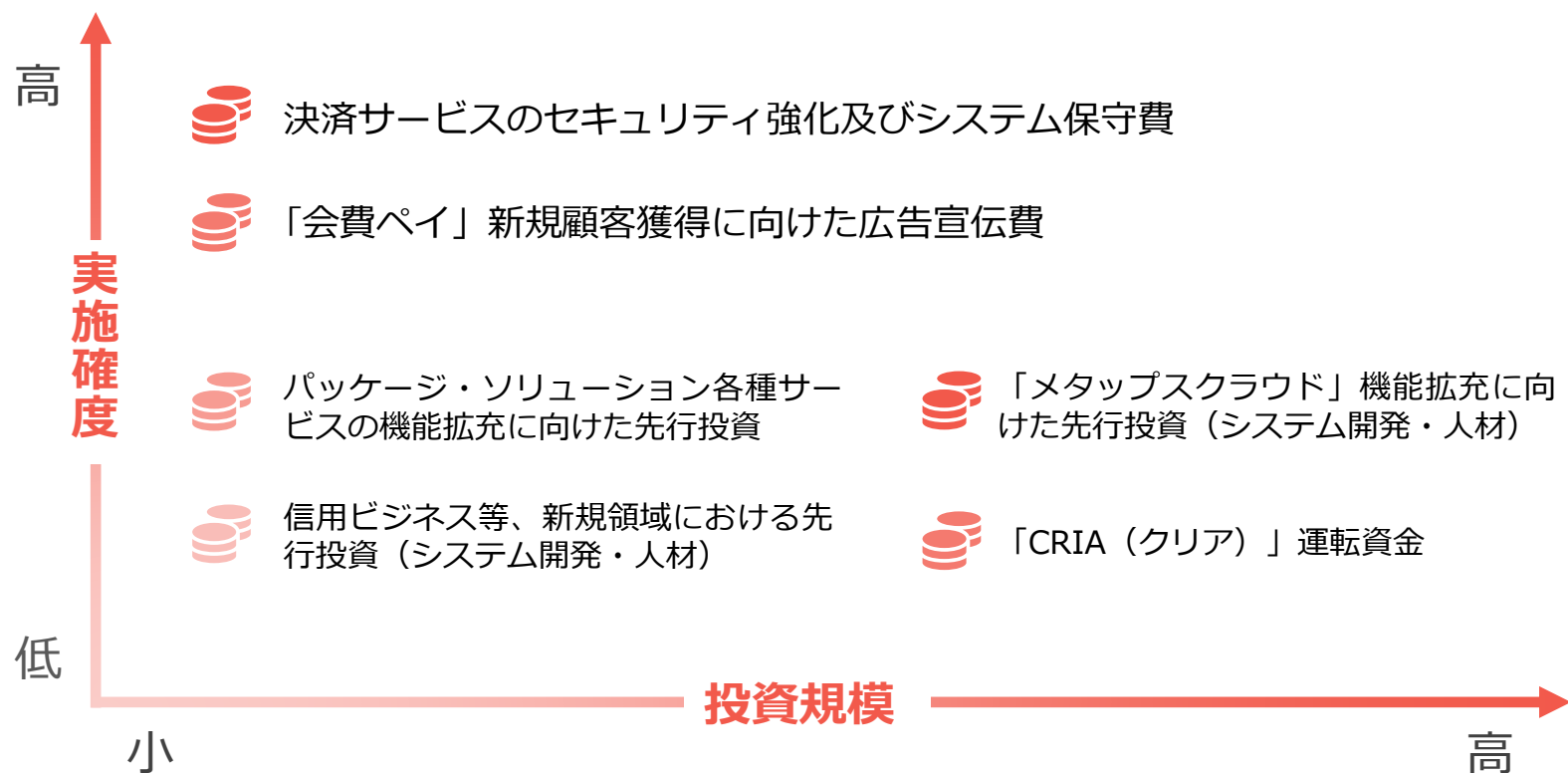
（ご参考）

「子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」（2021年2月5日付）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1927920/00.pdf>



強固な財務基盤を背景に、更なる事業拡大と
セキュリティ強化に向けた投資を積極的に行う



☑ M&Aは従前同様に、既存事業の補完・強化につながる案件を継続的に検討

- ✓ 主力であるファイナンス事業が収益を牽引し、MRR及びARRが過去最高を記録
- ✓ 事業ポートフォリオの見直しが最終局面。ノンコア事業を再編・譲渡し、注力領域に経営資源を集中
- ✓ 情報開示の改善を目的に報告セグメントを細分化。投資家目線をより意識したKPIの開示を行う
- ✓ 中長期的な成長ドライバーであるDX支援事業の本格稼働に向けた施策を着実に実行
- ✓ 子会社での不正アクセスに対する再発防止策を早急に講じ、必要な追加セキュリティ投資を積極的に行う

中期経営計画の達成に向けて、事業基盤の確立を急ぎ、組織体制の更なる強化を進める

02

ご参考

主力のファイナンス事業が営業利益ベースで大きく成長。組織再編に伴う関連会社株式の売却益も利益を更に押し上げ、最高益を更新

(百万円)	2020年12月期	2021年12月期	VS 前年同期比
売上高	5,020	5,739	+14.3%
売上総利益 % 売上高	2,174 43.3%	2,640 46.0%	+21.4%
調整後EBITDA % 売上高	443 8.8%	882 15.4%	+99.1%
営業利益 % 売上高	-563 na	3,281 57.2%	+38億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益 % 売上高	-108 na	4,054 70.6%	+42億円

当期における特殊要因：

- ☑ pring株式売却益を計上（営業利益+3,520百万円）
- ☑ 組織再編や本社移転費用を含む一時費用の計上（営業利益-438百万円）
- ☑ セキュリティインシデントに関するその他費用を計上（営業利益-168百万円）

「会費ペイ」や「CRIA」等のパッケージ・ソリューション、信用ビジネスが堅調に拡大し、**事業全体の収益性と利益率が大幅に向上**

(百万円)	2020年12月期	2021年12月期	VS 前年同期比
売上高	1,748	2,260	+29.3%
売上総利益 %売上高	1,519 86.9%	1,961 86.7%	+29.1%
セグメント利益 %売上高	410 23.5%	725 32.1%	+76.9%
EBITDA %売上高	485 27.7%	808 35.8%	+66.7%

外出自粛や在宅勤務等の増加を背景に**広告出稿需要が急拡大した前期を更に上回る着地**。ECや電子書籍案件を中心に年末にかけ大型受注を獲得

(百万円)	2020年12月期	2021年12月期	VS 前年同期比
売上高	2,204	2,696	+22.3%
売上総利益 %売上高	425 19.3%	475 17.6%	+11.8%
セグメント利益 %売上高	143 6.5%	164 6.1%	+14.4%
EBITDA %売上高	160 7.2%	195 7.2%	+22.4%

2020年8月、自律分散社会に向けて、経営理念の刷新と新たな経営方針を盛り込んだ**中期経営計画「The Road To 2025」**を策定

中期経営計画 3つのポイント

- ✓ **重点投資**：決済を中心とするフィンテック領域への投資
- ✓ **成長戦略**：SaaSを中心とするDX支援事業への投資
- ✓ **数値目標**：営業利益30～50億円達成

2025年目標数値

2025年に向けての営業利益
数値をグループメンバー全員
の共通目標とする

✓ **オーガニック目標
営業利益**

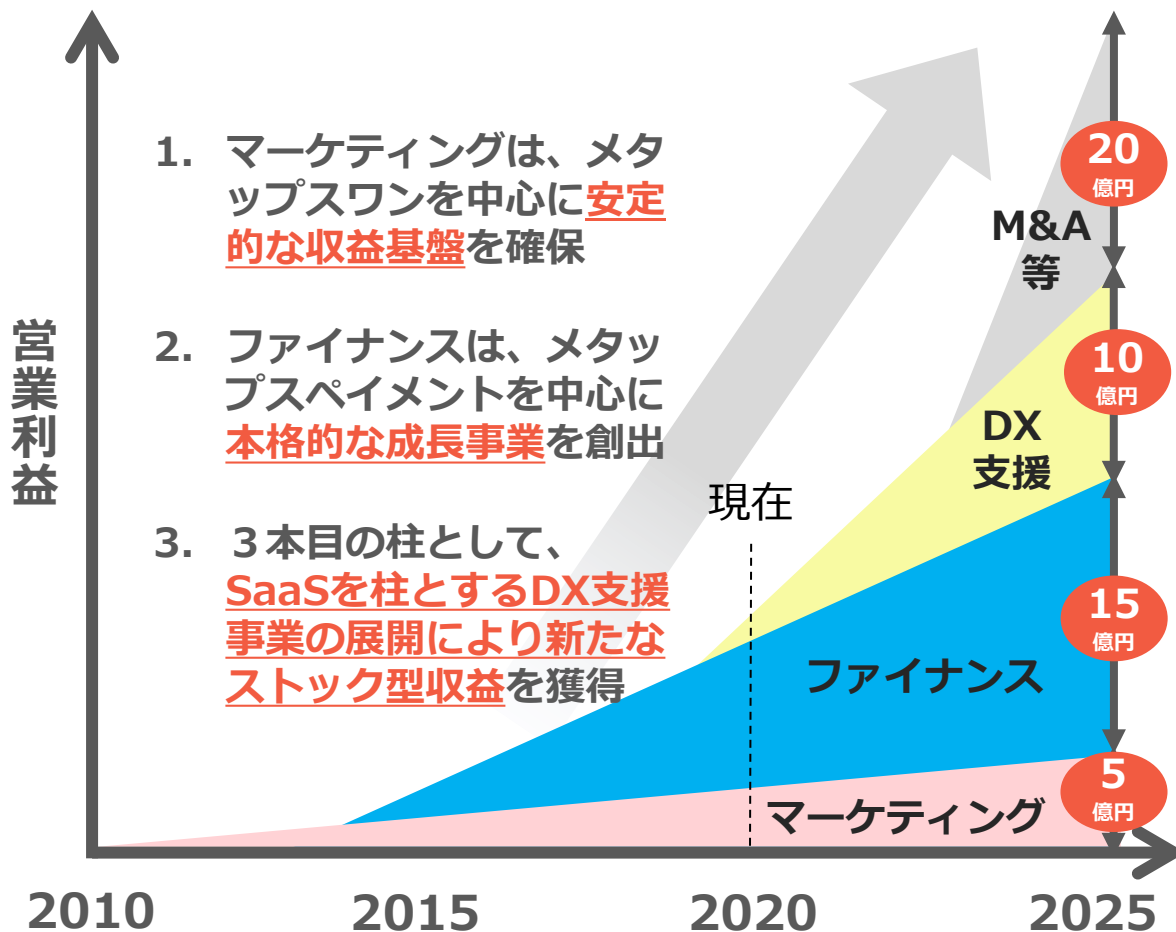
30億円

✓ **チャレンジ目標
営業利益**

50億円

オーガニック目標とチャレンジ目標の差額20億円は、M&A及び将来的に立ち上げる新規事業から創出

5年後の営業利益内訳イメージ



※当数値目標は、各事業が期待通り成長する前提で作成。当社は新規性の高い事業を展開しており、特にDX支援事業は不確定要素が多く、市場環境等に影響されるため、計画が当初想定から修正される可能性有り

- ファイナンス
- マーケティング
- 海外
- その他

メタップス (事業持株会社)

- ✓ DX支援事業
 - ーアプリ分析ツール
 - ーSaaS一元管理ツール
 - ーre:shine (リシャイン)

メタップス
ワン

- ✓ インターネット広告事業
- ✓ データフィード事業
- ✓ マーケティングソリューション事業
- ✓ 商品検索&アプリメディア事業

メタップス
ペイメント

- ✓ 決済サービス (EC・リアル決済)
- ✓ パッケージ・ソリューション (会費ペイ・イベントペイ等)
- ✓ 信用ビジネス (給与即時払いサービスCRIA: クリア)

Metaps
Plus

- ✓ 電子マネー&モバイル商品券事業 (EC・リアル決済)
- ✓ アプリマーケティング事業

持分法適用会社

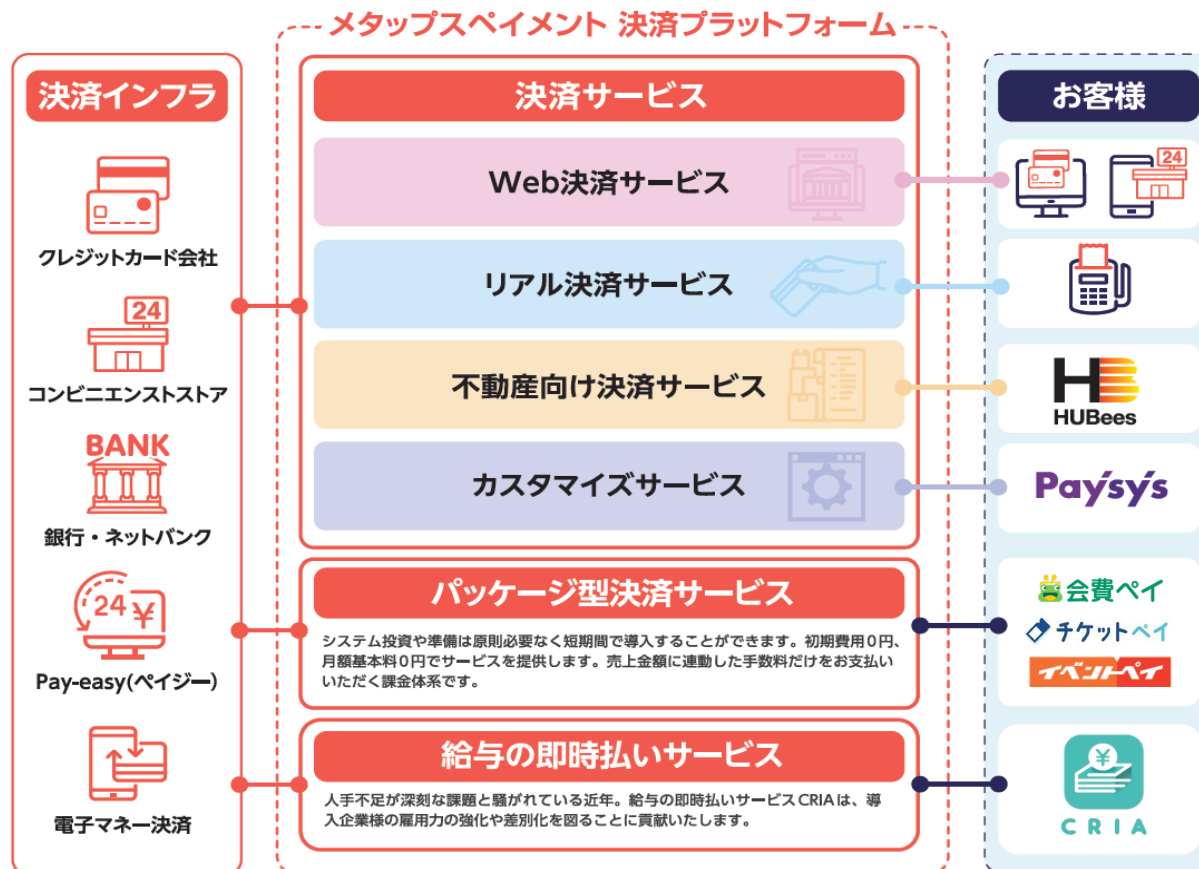
雲の宇宙船

20年の豊富な実績と、目まぐるしく変わるテクノロジー業界で培った決済サービスのノウハウを顧客ニーズに合わせて提供

メタップスペイメントは、EC決済のみならず実店舗でのリアル決済を提供。決済ラインナップは、クレジットカードの他、コンビニ、電子マネー、ペイジー、QRなど多彩な決済サービスを取り揃える

また、決済サービス以外にも、強みである開発力を活かしたパッケージ・ソリューション及び、信用ビジネス領域への投資を積極的に進め、様々なフィンテック事業を展開

詳細次頁以降



ファイナンス事業：会費ペイ※（サブスク型決済）metaps®

会費ペイ

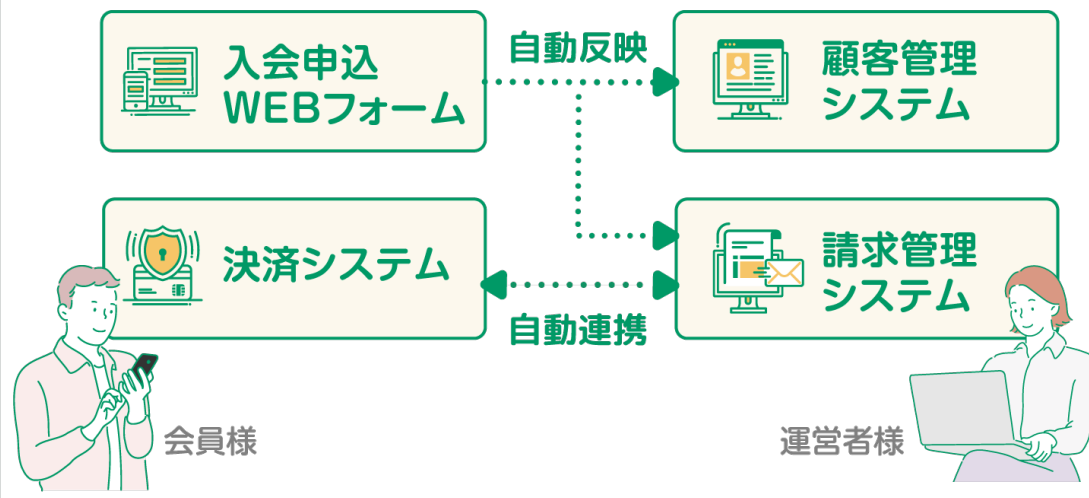
利用料金

- 初期費用：0円
- 月額費用：0円
- システム利用料 1：3.5%
- システム利用料 2：100円

・システム利用料 1 は、決済手数料込みの料金。別途決済手数料は発生しない ・システム利用料 1 は、決済金額からシステム利用料 2 を控除した金額に乘ずる
・システム利用料 2 は、決済が成功した請求1件につきかかる手数料

「会費ペイ」は、①入会申込、②支払方法の登録、③会員管理DBの登録、④毎月の集金、⑤催促自動化、を実現。フィットネス・習い事・スクールなど、**会費制ビジネス（サブスク）に必要な機能をワンシステムで提供**

会費制ビジネスに必要な機能をワンシステムで



会費ペイを契約すると、以下の支払手段をご利用いただけます。



※パッケージ・ソリューションは、会費ペイ、イベントペイ、チケットペイの3つのサービスで構成



利用料金

- 初期費用：0円
- 月額費用：0円
- システム利用料：3.5%

イベントの申込受付や決済、参加者管理をワンストップで提供する「イベントペイ」は、2020年5月よりビデオ会議サービス「Zoom」との連携を開始し、急速に利用件数が増加。現在は、リアルとオンラインのハイブリットでのイベント開催が主流に



※パッケージ・ソリューションは、会費ペイ、イベントペイ、チケットペイの3つのサービスで構成

プレイガイドに依存することなくチケット販売が出来るチケット販売管理・発券サービス「チケットペイ」。イベントペイ同様に、Zoom連携を開始し、オンライン配信ライブでの導入加速



チケットペイは、簡単にチケットの販売が出来るサービスです。手数料は売れた分だけ。抽選販売・座席自動割り振りなど機能充実、申込者情報も全て主催者様が取得できます。個人主催のイベントから、スタジアムライブまで、音楽・スポーツ・トークライブなど、規模に関係なくオールジャンルでご利用頂けます。また、オンラインイベントの受付からチケット販売、配信中の投げ銭募集など、幅広い使い方が可能です。

※販売時に、発券あり・なしが選べ、リアル・オンラインのどちらのイベントにも対応
※発券が必要な場合、全国（約16,600店舗）のファミリーマートで発券可能



Zoom連携機能 + 投げ銭サービス開始！

配信イベントに最適！

詳細はお気軽にお問合せください。



※投げ銭サービスは別途 pring 社と契約が必要になります。

1. 有料配信

・オンラインライブやトークライブ、アーカイブ配信等に

2. 無料配信 + 投げ銭

・中止になった公演の出演者様が集まり座談会
・配信中に投げ銭による応援をしていただく

3. 有料配信 + 投げ銭

・様々なシーンでご利用いただけます！

チケットペイは低価格で機能充実！すぐに販売できます

販売手数料	自由席・指定席登録料も	抽選・会員限定販売も	販売まで早い	入金が早い	いつでも相談
5.5%	0円	OK	3日	15日	専任スタッフがサポート
			※おおよそ3日で販売可能	※毎月15日に入金	

		チケットペイ	他プレイガイド
加盟店様手数料	取引契約料（初回のみ）	0円	10,000円
	販売システム利用料（1興業につき）	0円	5,000円～10,000円
	販売手数料（税別）	5.5%	8%～12%
	紙代負担	無し	有り
チケットに画像印刷	活用例）ファンクラブ限定チケット、特典引換え券	○	×
申込情報提供	管理画面で閲覧、ダウンロード可	○	×
メール配信	申込者へ自由にメール配信 ※1	○	×
支払サイクル	イベント実施に関係なく売上をお振込 ※2	毎月月末締め翌月15日	イベント終了後清算

※パッケージ・ソリューションは、会費ペイ、イベントペイ、チケットペイの3つのサービスで構成



給与即時払いサービス「CRIA（クリア）」はコロナの影響を乗り越え、大手加盟店の獲得など、事業拡大が加速

背景

- ▶ 海外では米国の「ペイロールカード」等、新たな給与支払い手段が拡大
- ▶ 2018年12月、政府が「電子マネーによる給与支払い」解禁の方針を発表。2019年12月、国家戦略特別区域諮問会議で、**デジタルマネーによる給与支払いが規制改革事項として決定**
- ▶ 2021年1月、日本経済新聞は「**政府は今春から企業が給与を銀行口座を介さずに支払えるようにする**」と報じた
- ▶ 国内では人口減少もあり、企業の採用難易度が年々上昇し、人材不足が経営課題

CRIAの特徴

- ▶ 従業員がいつでも給与を受け取ることができ、働いた対価の流動性を確保することで安心感が生まれる
- ▶ **CRIA導入により、企業の求人応募数が増加し、定着率も向上**
- ▶ 企業の導入手数料は無料、利用者が手数料負担（業界最安値）
- ▶ **原則24時間365日受け取り可能、セブン銀行ATMでの現金受取サービス**

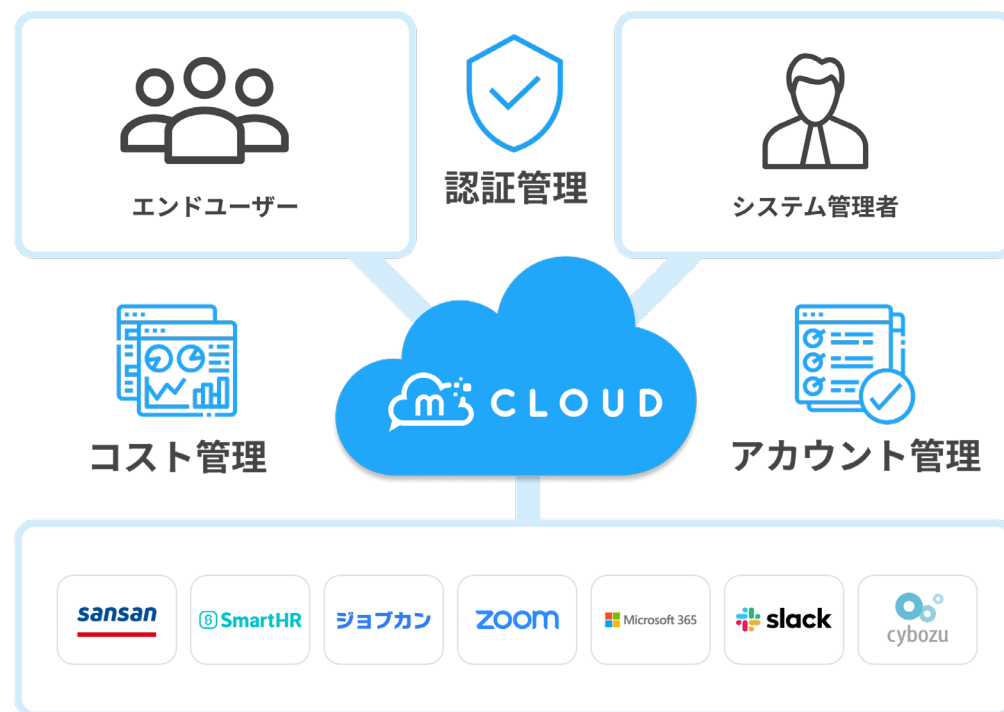


セブン銀行の口座が無くても利用が可能

DXのため導入されるSaaSが、**リスクとムダ**を生んでいた

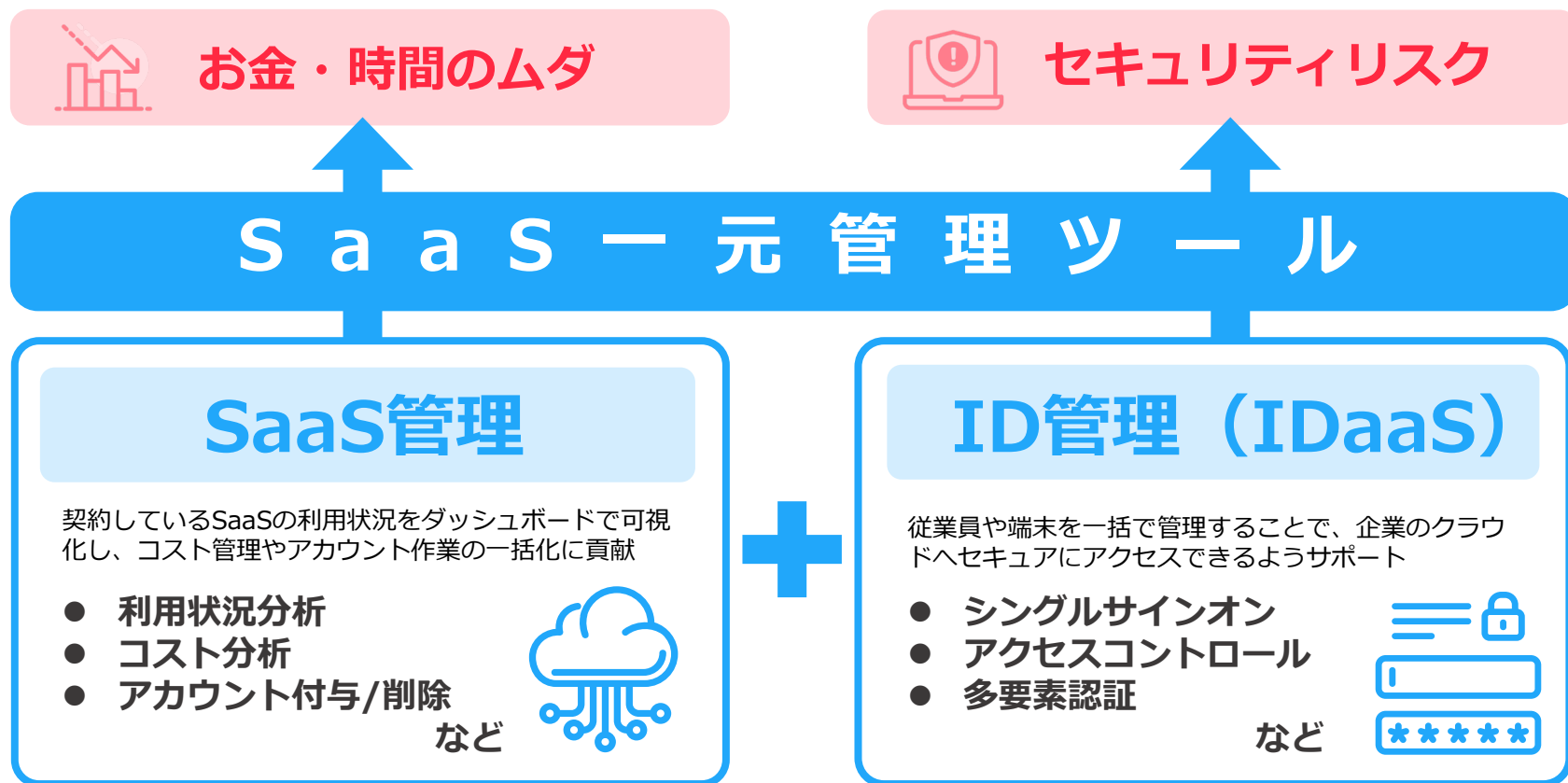
リモートワークをきっかけに、“SaaS爆発”とも呼べるほど急増する企業によるSaaS利用。2020年には、市場規模が2015年の約2倍の約9.5兆円まで伸長。^{※1} **導入が増加する一方で、コスト・セキュリティ面では数々の問題が発生**

急激なSaaSの導入増加がもたらすお金・時間のムダと、セキュリティリスクを改善する日本初のSaaS一元管理ツール「**メタップスクラウド**」を提供開始

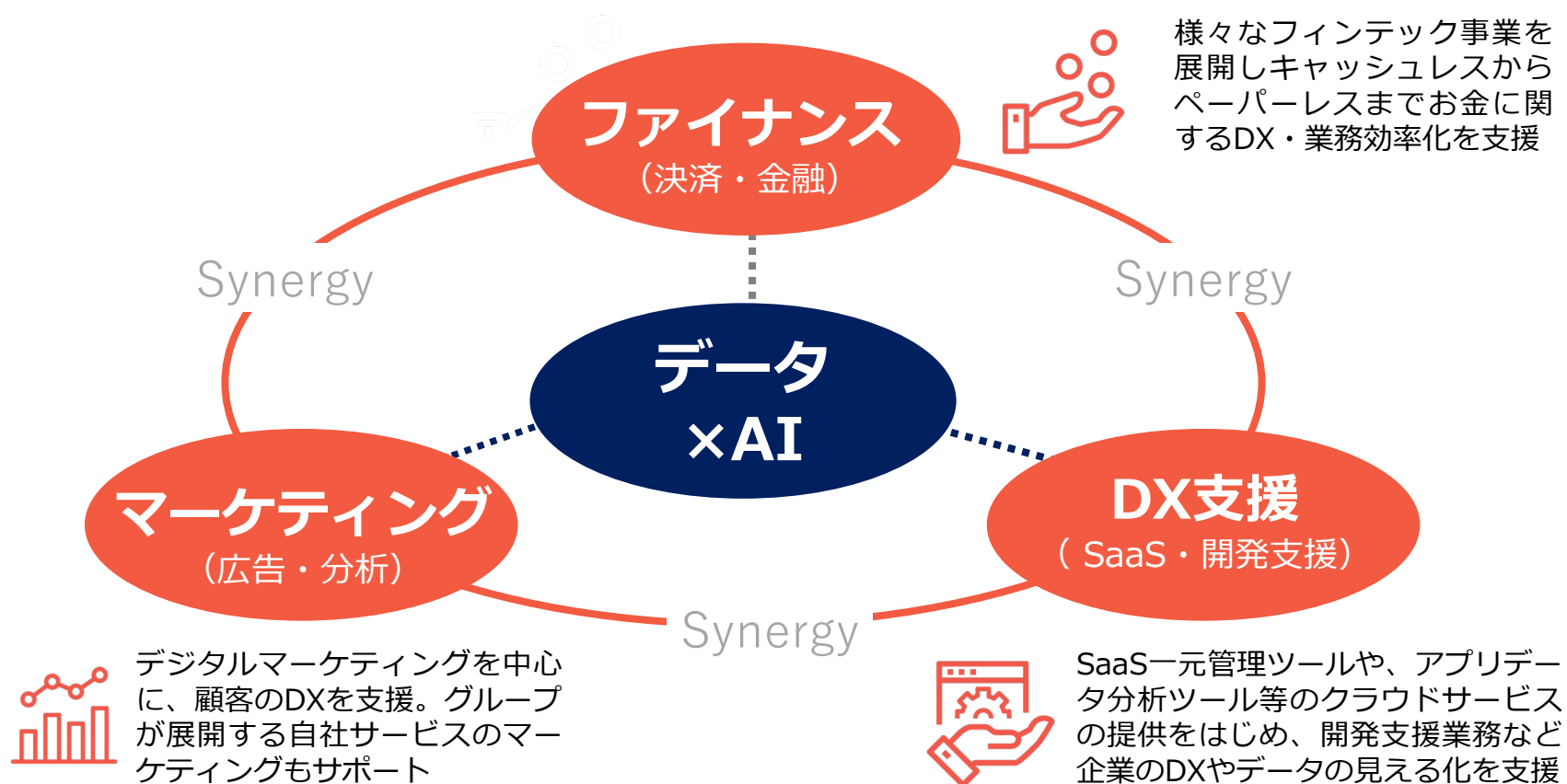


※1 出所：総務省「平成30年版情報通信白書」

メタップスクラウドは、SaaSの導入増加を背景に生まれた、お金・時間のムダを改善する「**SaaS管理**」とセキュリティリスクを抑える「**ID管理 (IDaaS)**」、の2つの機能を備えた日本初のSaaS一元管理ツール



グループの事業資産を活用し**社会と企業のデジタル化を支援**。全ての経済活動を可視化し、事業を通して得られる様々なデータの利活用を提案



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs（持続可能な開発目標）は、国連加盟国と多様な組織、人々によって作られ、国連で2015年に採択されました。17のゴール・169のターゲットから構成されており、地球上の誰一人として取り残さないこと（leave no one behind）を誓っています。この目標達成に向けて、各国が積極的に取り組むことが約束されました。

【メタップスSDGs宣言】

メタップスは、人々の価値観が大きく変化し、「豊かさ」や「生き方」の概念も多様化する時代を捉え、テクノロジーをフル活用することで、働き方をはじめ、人々を現実世界における様々な制約から解放し、自然と共生しながら、**新しい価値創造と多様な幸せを追求できる社会の持続的発展を支援いたします。**

当社としてのSDGsに対する思いや決意、取り組み内容などをまとめた「SDGsレポート」を発刊

<https://metaps.com/ja/sustainability/>

自律分散社会に向けて、経営理念を刷新（2020年8月）。テクノロジーにより、働き方をはじめ、人々を様々な制約から解放。自然と共生しながら、新しい価値創造と多様な幸せを追求できる社会をつくる

MISSION

存在意義

テクノロジーでお金と経済のあり方を変える

テクノロジーを駆使し、世界中に埋もれている価値を有効活用することで、経済やお金のあり方を変える

VISION

目指す姿

世界を解き放つ「Unleash The World」

世界中の誰もが様々な制約から解放され、自由に未来を創造し、多様な生活を追求できる社会を作る

VALUE

価値観

Metaps People Quality (MPQ)

完遂力：
やり遂げる力

思考力：
考え抜く力

スピード：
素早く実行する力

変革力：
変わり続ける力

組織力：
共創する力

STRATEGY

経営戦略

ファイナンス

決済、送金、融資等

マーケティング

広告、分析、コンサル等

DX支援

SaaS、ブロックチェーン等

テクノロジーでお金と
経済のあり方を変える



metaps®

世界を解き放つ



本資料の取り扱いについて

この資料は、株式会社メタップス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。本資料は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。